

※自己評価 A…とてもよく取り組んでいる B…ほぼ取り組んでいる
C…工夫・改善が望まれる D…改善が必要である

平成28年度 学校評価の結果 課題と改善策

「確かな学力」の育成

わかる授業 **わかりやすく教えてくれる A**

わかる授業の評価

児童	92.3
保護者	76

○教材を精選し資料を効果的に採り入れるなど、児童の興味関心を大切に授業を展開します。
○学習のめあてを明確にし、個に応じた指導を行います。
○複数教員での指導や通級指導教室での指導体制を充実させます。

基礎・基本の定着 **基礎・基本定着への取組 A**

基礎基本定着の取組の評価

児童	88.3
教職員	69.1

○学習の過程がよく分かるよう、きめ細やかなノート指導を行います。
○朝の活動の時間を有効に活用し、計算・漢字などの基礎学力の定着をめざします。
○前学年の基礎事項をまとめた学習カードや国語辞典を活用し、基礎学力を定着させます。

指導方法の工夫改善 **指導方法の改善に努めている B**

指導方法の工夫改善	68.8
教材教具の活用	62.5
情報機器の活用	68.9

○自分の解決方法をノートに記述したり、相手に分かりやすく説明したりする等の言語活動を積極的に採り入れます。
○グループ活動や発表形式など学習形態の工夫を行い、子ども同士で学び合う場を大切にします。
○情報機器や教材・教具などを工夫して活用し、わかりやすい授業を展開します。

学習習慣 **学習習慣の定着 A**

人の話はよく聞いている	79
学校で勉強する方がよくわかる	89.5
宿題は毎日きちんとやっている	92.3

○「家庭学習の手引き」を活用し、家庭との連携を密にして家庭学習や学習用具の点検・準備の習慣化を図ります。
○朝の読書、読み聞かせ、家庭読書の推進など読書活動を充実させ、学年に応じた目標冊数を設定することで、読書に親しむ態度を身につかせます。
○「岩小っこ授業のルール」を身につかせます。(正しい姿勢、話の聞き方、学習用具の点検、準備)

信頼される学校づくり

開かれた学校づくり **A**

子どもや保護者の悩み、相談に適切に対応している	74.4
保護者や地域住民に対して、子どもの状況を知らせることができている	82.4
保護者や地域住民の意見を取り上げようとしている	73.1
保護者に対して学習内容や進みぐあいを知らせることができている	73.3
保護者や地域との連携はうまくいっている	78.5

○ホームページや学校だより、学年だより等を通して、学校の情報をわかりやすく発信し、保護者や地域との連携を深めていきます。
○「チーム岩倉」を合い言葉に学校・保護者・地域が一体となった特色ある教育活動を展開し、開かれた学校経営を推進します。
○学校経営上の課題について全教職員で共通理解し、協働体制で取り組みます。

学校教育目標

知・徳・体の調和のとれた人間性豊かであるとともに、人権感覚に優れ、力強く未来を切り拓いていく実践力のある児童を育てる。

本校の教育目標は達成できた	72.9
めざす学校像は達成できた	70.9
めざす子ども像は達成できた	72.9
保護者に対して、教育方針を明らかにしている	78.9

「健やかな体」の育成

健康・体力 **健康づくり A**

健康づくりへの取組の評価

児童	72.7
保護者	82.4

◇給食を好き嫌いせず、残さないようにきちんと食べている **87.1**
◇休み時間には、元気よく、仲よく遊んでいる **93.1**

○徒歩通学や休み時間の運動を奨励し、体育の授業を充実して進んで体を動かす態度を育て、体力の向上を図ります。
○基本的な生活習慣を定着させ、食育を通じて好き嫌いをなく食べることができるように啓発・指導していきます。

安全・安心な学校づくり

安全・安心 **安全・安心の取組 A**

交通ルールを守る(児童)	93.1
保健安全教育計画の指導(教職員)	73.4
安全への日常的働きかけ(教職員)	75.6
安全点検の実施(教職員)	68.8

○安全に関する学習を毎週継続して行い、「学校安全の日」や「安全朝会」の機会を活用して安全に対する意識を高めます。
○毎月の定期点検で安全・安心な学習環境を整えるとともに、非常時に迅速な対応ができるよう体制を整えます。

保護者・地域との連携

PTA活動 **A** 幼小中の連携 **B**
地域との連携 **A**

○役員会で話し合い、PTA活動が参加しやすく充実した活動になるように工夫します。
○幼稚園・中学校と効果的な連携ができるように、連絡を密にしています。
○地域の施設や人材を積極的に連携し、食育活動を中心に岩倉地域の特色を活かした教育活動を推進していきます。

「豊かな心」の育成

基本的な生活習慣 **あいさつ・返事 B**

あいさつ・返事の評価

児童	82.8
保護者	73.6
教職員	66.7

○「誠」に記載されている「わたしたちのきまり」を徹底していきます。
○よいあいさつや返事の仕方を示し振り返りをさせることで、意識づけし、習慣化できるよう指導していきます。

いじめのない温かな人間関係 **いじめのない学校づくりへの取組 A**

学校へ行くのが楽しい 児童	87.7
学校には仲のよい友だちがいる。 保護者	81.3
学校には仲のよい友だちがいる。 児童	97.0
友だちのよいところを認め、思いやりの気持ちをもって生活できている。 児童	87.7
学校にはつらいことがあるとき、声をかけてくれる人がいる。 児童	90.9

○教師と子ども、子ども同士の温かい人間関係を構築し、家庭や地域との連携を図りながら、いじめは絶対に許さないという毅然とした態度で指導していきます。

道徳教育 **道徳教育の推進 B**

◇道徳的価値を内面的に自覚できるような指導方法の工夫改善に努めている **66.7**

人権教育・特別支援教育 **人権教育・特別支援教育の推進 A**

子どもの発達段階や生活背景をきちんと理解し、全教科・全領域で人権教育の推進に努めている	76.2
差別や偏見のない学級集団づくりに努めている	76.9
学習が遅れがちな子どもに適切な支援をしている	81.3
子どもたちの個性を把握し、適切な支援をしている	73.9

○規範意識や生命の尊重、自尊感情や他者を思いやる心情を高め、自ら生活を振り返り実践しようとする態度を育てます。
○教師自らの人権感覚を磨き、生活の中の差別や偏見を見逃さず、人権を大切に児童を育てます。
○児童一人一人の特性理解や教育的ニーズの把握に努め、個に応じた適切な支援をしていきます。

生徒指導 **生徒指導の推進と充実 A**

様々な問題行動の発生時に組織的に対応できる体制の整備	80.4
問題行動防止のための早期指導への学校全体での取組	76.5
生徒指導においての家庭・関係諸機関との連携	78.5

○家庭、地域、関係諸機関と連携を図りながら、学校を中心としたチームで積極的な生徒指導に努めます。

家庭生活 **家庭生活での取組 B**

家庭生活(保護者)評価

家庭での手伝い	68.3
家族での日常的会話	72.5
規則正しい生活習慣	75.7

○生活科や家庭科等の学習を通して、家族の一員としての自覚を促していきます。
○家庭に呼びかけて、望ましい家庭生活を送れるよう指導していきます。